

5. 東海（地域別調査機関：（株）U F J 総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・冷夏のため夏物の販売量は減少しているが、定番商品の売上が増加している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・冷夏、SARSやイラク戦争の影響か、伊勢地区への観光客は1割程増加し、売上も約1割増加している。しかし、鳥羽、志摩地区では海水浴客の減少が続いている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・天候不順で低単価も続いているが、お盆期間の販売量、売上はともに2～3割増加している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・お盆期間の来客は予想に反して増加している。ただし、単価は上がっておらず、前月と同じ水準で推移している。酒類はビールよりも発泡酒に人気があり、ワインなども値頃な商品が動いている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・セールの売上が良く、秋物も順調に推移している。売上は対前年比プラスで推移している。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・客単価は上向いてきているが、対前年では変化がない。来客数は若干減少している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・前半は冷夏の影響があったが、米飯食品の売上が好調となるなど、後半は持ち直している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前年同期と比較して販売量は増加している。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・新規の客が増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊、レストラン、宴会場の各部門で予算を達成できている。宿泊、宴会場の稼働率も前年を上回っている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・単価はなかなか高くないが、客の旅行への意識は少しずつ戻りつつある。冬場にSARSが再発する懸念はあるが、国内旅行を中心に好調になると思われる。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・海外出張の航空券販売は完全に戻ってきている。また個人旅行も国内旅行が中心ではあるが、やや戻りつつある。しかしパッケージツアーの販売数は4月以降8月までの累計で前年の6割となっている。
		観光名所（案内係）	来客数の動き	・冷夏の影響は大きいですが、後半は晴天が続いており多少持ち直してきている。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・賃貸マンションやアパートの建て替え、リフォームなどの受注が増加している。	
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き	・冷夏の影響で売上は増加しているが、客単価に変化は見られない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・お盆明けまでは天候不順で気温が低く、来客数に大きな落ち込みはなかったものの販売量は減少している。 ・増税で売上が減少していたたばこは、例年並みの数字に近いところまで回復してきている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・前半は雨が多かったが、来客数は多かった。しかし売上には結びついていない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・客はバーゲン商品の再値下げ品などの目玉商品には飛びつくが、定価商品に対しては動きが鈍い。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・冷夏の影響により、水着やパラソルなどの盛夏商材、秋色夏素材の婦人服の売行きが前年を下回っている。しかし、売りつくしセールなどのイベント商戦は好調であるため、気候により大きな影響を受けてはいるが購買意欲は堅調である。
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・店頭販売はますますであるが、外商が伸び悩んでいる。
百貨店（外商担当）		来客数の動き	・来客数が増加している。	
スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数は増加しているが単価は低いままである。		
スーパー（経営者）	お客様の様子	・相変わらず安価な商品ばかりを購入する傾向が継続している。		

スーパー（経営者）	来客数の動き	・今年はお盆に天候が悪く、客足が伸びていない。
スーパー（店長）	お客様の様子	・本当に安く価値ある商品は積極的に購入するが、それ以外の商品はまったく購入しないという慎重な買い物が継続している。
スーパー（店員）	来客数の動き	・決算期で競合店ではチラシの折り込み回数を増加させており、客を取られている。客単価も低下している。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・天候不順で行楽客が減少している。従来は客単価の低下が目立っていたが、最近は来客数も減少している。
家電量販店（経営者）	お客様の様子	・冷夏で季節商品の動きは悪いが、代わりに定番商品が動いており変化はない。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・メール、電話での問い合わせ件数、来客数、商談件数、単価、販売件数、納期率など、あらゆる指標が低い状態で推移している。
乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・正規ディーラーは対前年比100%を確保できているが、整備業者などでは家を1戸1戸回って案件を拾っているような状況で、厳しい状態が続いており対照的である。
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・悪い状態が続いており変化がない。客との会話でも、夏休みにどこへも行かなかったという人が多い。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数はあるが、購買にはつながっていない。
住関連専門店（店員）	販売量の動き	・夏物は不調だが、それ以外の商品は昨年と変わらない。
その他小売〔貴金属〕（経営者）	販売量の動き	・天候不順のため、例年のように夏休みで活気が出るということがない。
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・7月の来客数の減少と比較すると立ち直りつつあるが、完全には回復しておらず、依然として底ばい状況である。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・お盆期間中は天候不順で、旅行へ出かけない人の飲食が増加したが、全体としては厳しい状況が続いている。
スナック（経営者）	お客様の様子	・月の前半はまずまずであったが、お盆明け以後は来客数が減少している。
スナック（経営者）	来客数の動き	・スタッフを増員したにも関わらず、天候が悪く来客数は伸びていない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・お盆時期に休暇でお金を使う人が多く、お盆明けは来客数が減少している。
観光型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・1泊2食付という形態から、1泊朝食付で夕食は選択という割安プランに移行している。
旅行代理店（経営者）	単価の動き	・SARSの影響による国内回帰現象で来客数は増加しているが、単価は前年並みか低下傾向にあり変化はない。単価の底が見えていないことが気がかりである。
旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・冷夏の影響で観光地へ出掛ける人が減少している。
タクシー運転手	お客様の様子	・お盆までは夜の繁華街の客が好調であったが、その後は一転して悪い状況にある。月末は暑い日が続き、昼間の客も減少している。
タクシー運転手	来客数の動き	・悪い状態のまま変化がない状況が続いている。
タクシー運転手	来客数の動き	・来客数が減少し、売上も伸びていない。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新規契約数は多少落ちてきているものの、8月という時期を考えればそれほどひどい状況ではない。契約に結びつかない問い合わせは多く、どちらとも判断のつかない状況である。
通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売台数の落ち込みを予想していたが、ほぼ横ばいである。
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・客がレジャー費を節約している様子は春先とあまり変わらない。
ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・来客数はほぼ前年並みになってきているが、顧客単価が下げ止まらない。他のクラブと比べて百円単位の料金差があるだけでも、予約を取ることができないケースが多い。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数は若干減少しているが、前年以上の数字にはなっている。

	美容室（経営者）	お客様の様子	・冷夏の影響で、客の動きが若干ではあるが鈍い。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客の動きは相変わらず悪く、来店回数が減ってきている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・例年なら客が増加する月であるが、今年は冷夏で変化がない。
	その他サービス 〔珠算塾〕（経営者）	それ以外	・新学期生徒の入塾の見込みも立たず、廃業してしまう同業者が多い。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が減少しており、それに伴い販売量、売上も減少傾向にある。季節商品はまったく売れず、定番商品しか動かない。
	一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・冷夏で季節商品の動きが悪い。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客も景気が悪いと言っており、購買意欲が見られない。
	スーパー（店長）	競争相手の様子	・これまでチラシを出さなかった店までチラシを出し始めている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・冷夏の影響もあり、客単価はさらに低下傾向である。中元ギフトも低価格帯の動きばかりがよく、回復の兆しもない。売上確保のためのチラシ特売でも、より一層単価を下げることに終始してしまっている。
	スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・冷夏による天候不順で、季節商材の動きが悪い。アイスクリーム、飲料に関しては対前年比で2割程落ち込んでいる。
	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・冷夏の影響で、季節商品であるビール、飲料水の売上が15%程減少している。夏の主力商品であり、他の商品ではとてもカバーすることができず、売上は落ち込んでいる。
	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・新規出店のコンビニが消費者に浸透し、非常に影響を受けている。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・これまでは景気の悪化が原因で客単価が低下してきた。現在は競合店の増加が原因で、来客数が前年比10%も減ってきている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・冷夏の影響でビール、飲料水が動かない。飲食店からの発注も少ない。
	自動車備品販売店（経営者）	単価の動き	・来客数の減少と客単価の低下に歯止めがかからない限り好転しない。高額商品が売れ始めれば良くなるだろう。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売台数のマイナス幅が大きく損益分岐点台数を割っている。また1台当たりの販売価格も落ち込んでいるため、利益幅も減少している。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・来客数が前年比で減少している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・気温が涼しいと営業マンなどは昼食をコンビニ弁当で済ませてしまい来客数が減少するが、その影響が出ている。
	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・冷夏とお盆期間の雨でプール収入が大幅に減少している。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・天候不順により客数が激減している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・お盆休み期間中の客が著しく減少している。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・本来なら繁忙期であるが、冷夏の影響で来客数が減少している。	
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・入浴用品のキャンペーンを実施し売上増を狙ったが、冷夏のためか売上予算を下回っている。	
住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・金利の上昇で駆け込み受注を期待しているが、客の反応は鈍い。	
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候不順が影響して来客数が伸び悩んでいる。
	スーパー（店員）	お客様の様子	・客は広告商品でさえ買い控えしている。
	コンビニ（店長）	販売量の動き	・低温傾向で飲料水やアルコール、アイスクリームなどの売上が減少している。たばこも増税前の水準まで売上が回復してこない。

		コンビニ（店長）	それ以外	・天候不順のため、水物の売上が予想を裏切っている。
		その他専門店 〔石材〕（経営者）	単価の動き	・仕事量が減少し、かつ単価も下がっている。
		その他専門店 〔貴金属〕（店長）	お客様の様子	・客は、購買意欲はあるが価格を重視しており、また、買うなら良い物がほしいということで先送りしている。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・個人経営の店では倒産が相次いでいる。生き残っていくことが難しい。
企業 動向 関連	良く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・住宅ローン減税が縮小されることを見越した住宅の駆け込み需要で、タイル、陶磁器、衛生陶器やそれらの原料が好調である。3か月前と比較して売上が17.5%増、経常利益が68.7%増と予想以上に好成績である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は、治安の悪化を背景に監視カメラを中心に堅調を維持している。海外販売も、北米、アジアともに販売が好転しており売上が増加している。
	やや良く なっている	化学工業（人事担当）	受注量や販売量の動き	・はっきりとはではないが購買意欲が感じられ、景気が良くなっている兆候がある。相変わらず安い商品ばかり売れているが、多少高額商品でも価値のある商品は動いている。
		電気機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年なら受注量が減少する時期であるが、今年は高水準で推移している。
	変わらない	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量ともに前年を若干下回っている。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・一部業種では景気の底打ちが聞かれるものの、自社製品の耐久消費財関連は相変わらず低調で厳しい状況が続いている。
		一般機械器具製造業（販売担当）	受注価格や販売価格の動き	・値崩れは激しいが、これ以上下がれば競合相手もやっていけないため、底は見えている。引き合いや受注量についてはここ数か月は安定している。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・冷夏や天候不順の影響により、生活関連の消費が大幅に落ち込んでおり、輸送需要が減っている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・例年お盆休みの時期は工場の機械設備などを交換する業務を行っているが、ここ数年の工事数はとても少なかった。しかし今年は休めないほど非常に忙しくなっている。ただし、これが景気の好転を示すのかよくわからない。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・年初の見込みより伸びが鈍化している。例年の季節変動から見るともう少し伸びても良いような状況である。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・損害保険料削減の要望が強いため、縁故で入っている保険を解約して新しい保険会社に変える企業、個人が多くなってきている。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・顧客から発注された印刷物は、3か月前と同様見積金額にほぼ近い金額で受注できている。
		公認会計士	それ以外	・冷夏の影響で業績不振の会社が多い。特殊要因以外で業績がアップしている会社はほとんどない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・デベロッパーによる新規土地取得動向は弱い。分譲住宅地は短期間で10%以上値下げする動きが見られる。
		税理士	取引先の様子	・天候不順の影響を受けた企業以外は目立った変化はない。
	やや悪く なっている	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・お盆前と比べて受注量が急減している。鋼材単価の値上げを各メーカーが発表して以来様子見が続いているのか、販売量も減っている。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・設備投資に改善の動きが見られない。
		企業広告制作業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新規の受注が見込めない。また従来の受注も予算の縮小がみられる。
	悪く なっている	非鉄金属製品製造業〔鋳物〕（経営企画）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格、販売量ともに減少傾向にある。
雇用 関連	良く なっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・自動車、金融、不動産関連の受注が前月から引き続き増加しており、良い状況が続いている。

やや良くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	求人数の動き	・自動車の好調な輸出とマイナーチェンジで、自動車関連の求人数が大幅に増加している。未曾有の人手不足ともいえる状況である。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・自動車製造業の期間工募集件数が増加している。一時減少していた建設関係の募集も若干増加傾向となっている。
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・サービス、卸売・小売業で求人が増加している。求人件数は前月と比較して130件程増加している。
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者が減少傾向にある。職業安定所の窓口の混雑状況も緩和傾向にある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の有効求人倍率は、3か月前と比較して有効求人が0.3%増加し、有効求職者が3.5%減少していることから、0.04ポイント上昇の0.90倍となっている。 ・新規求人は前年同期と比較して、管内の主要産業である輸送用機械製造業で32.3%減少し、製造業全体でも5.9%減少しているが、卸売・小売業で26%、サービス業で23.9%、運輸・通信業で4.5%増加したことから、全体として9.9%増加している。
変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・主要企業の来春新卒採用が今年度と比較して0.4%増と、2年ぶりに増加している。大卒者は、文系で7.3%、理系で8.1%の増加となっており、全体では5.6%の増加である。
	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・直接雇用を控えたいという企業の動きは継続している。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・不良債権処理にともない事業の縮小、従業員の解雇を進めている状況がいまだに見受けられる。
	職業安定所（管理部門担当）	それ以外	・求人数は横ばいで、求職者はやや減少している。就職件数は大きく落ち込んでいる。
やや悪くなっている	民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・自動車関連企業からの求人数は依然として多く、安定している。また、減少する一方だったIT業界の求人回復の兆しが徐々に出てきている。
	人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・冷夏により季節商品を例年通り増産出来なかった企業では人員補充がみられない。
悪くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・新規求職者は減少傾向にあり、事業所閉鎖や倒産などの退職理由も少なくなっている。しかしその一方で、失業状態が長い求職者、常用雇用の経験の無い求職者が増加している。新規求人数に占める派遣、請負求人割合も25%以上となっている。
	-	-	-